

平安京左京六条四坊八町跡（京都市下京区杉屋町）

株式会社四門 京都支店 辻 広志(土-059)

1. 調査の概要

平安京左京六条四坊八町跡の調査は、京都市下京区松原通堺町東に入る杉屋町288-1～3、289-1・2他で、ホテル建設に伴い実施した。現地調査は令和元年11月11日～令和2年1月30日の間に、 $184\text{ m}^2 \times 4$ 面を調査した。その後、整理調査を令和2年8月31日まで行い、報告書を刊行した。

2. 調査成果の概要

調査地は、平安京左京の五条大路南側（北頬）にあたるが、隣接地での調査例は少なく、五条大路南側溝の検出が期待されていた。

発掘調査における主な成果は、調査区北側の五条大路南側溝が、平安京遷都(794年)後の道路整備において初めて設けられて以降、2回にわたる大路の整備が、何れも鴨川の東側(鴨東)に存在した政治拠点の盛衰に関わっていたことを、遺構や遺物から具体的に確認することができたことにある。

当初の五条大路南側溝は、平安京遷都後、11世紀前葉には埋没してしまう。五条大路の再整備は、平安時代末の11世紀末～12世紀後葉で、平氏の隆盛と六波羅館の存在、平氏の信頼が厚い公家の邸第がこの大路沿いに集住したことにより実施された。この時期に、初めて調査地内に街路に面する広義の町家を確認できた。

五条大路の再整備は、承久の乱(1221)後に鎌倉幕府によって設けられた六波羅探題・六波羅御所への街路としての整備であったと考えられる。これは、現在の五条大路の通り名である松原通の元となった、松を街路樹とする街路整備であった可能性がある。

しかし、室町時代には人家もなくなり急速に衰退し、戦国時代に到りようやく鋳造関係の職人町となり、江戸時代を通して鋳造関係の職人や商人の町であったことが明らかとなった。

この他に戦国末・江戸時代前期にあたる8期の遺物で、井戸023SEから出土した笏谷石製方形盤から、これまで余り重要視されてこなかった市内の笏谷石製出土品を集めし都での受容を考察した「京都市内の笏谷石製品」(古川登)、鋳造関係土坑136SX・132SX・012SX等の遺構から出土した柄鏡粗型・鏡真土型・屏風・埴堀・取鍋・羽口等から、この時期の柄鏡の革新的な生産方法とその特徴を考察した「出土鋳造遺物からみた柄鏡の生産量について」(佐々木英二)、土坑136SXから出土した赤色顔料が厚く付着した擂鉢の分析から、調査地での鉄丹ベンガラの生産を明らかにした「出土赤色顔料の分析調査」(北野信彦)等を納めた。

3. まとめ

今回の成果は、左京の五条大路沿いの盛衰が、五条大橋東の六波羅を拠点とした平氏や鎌倉幕府の政権、豊臣秀吉の五条大橋の付け替えや方広寺の建設など、鴨東の盛衰に大きく左右されていたことが明らかになった。さらに、今日に至るまでの町の形成過程を定點的に詳細に解明できたものと考えている。

《参考文献》

櫛四門 2020 『平安京六条四坊八町跡－京都市下京区松原通堺町東入る杉屋町288-1～3、289-1・2他の発掘調査－』

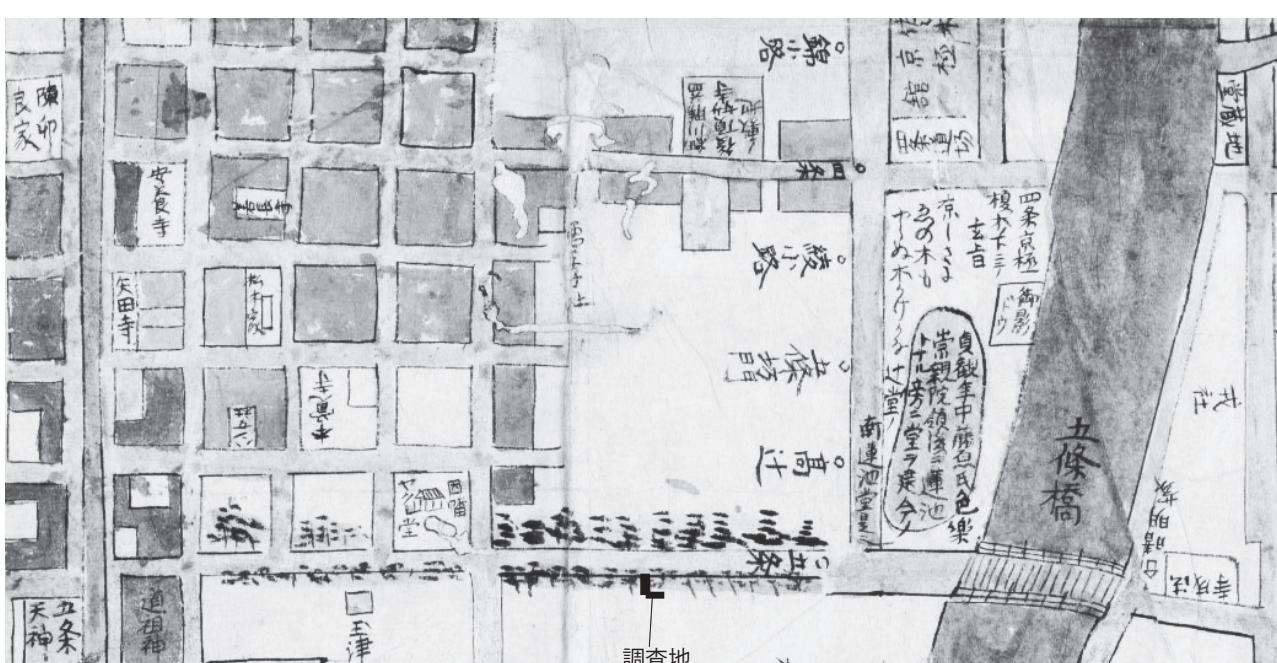


図1 応仁元年～天正期の京都を描く『中草京師地圖』(国立国会図書館蔵)より五条大路周辺と調査地

遺構面	時期	時代	小森編年 (京編年)	年代	主要な遺構							
					洪水堆積層 ・盛土層	建物	橋 (塀)	五条大路 南側溝	塗・溝	井戸	土坑・不明遺構等	鍛造関係
4面	0期				220							
	1期	平安	京Ⅲ中	平安室町(794)			120					
		京Ⅱ古					120		201			
		京Ⅲ中					120					
		京Ⅳ古					120					
		京Ⅴ中					120					
		京Ⅴ古					120					
		京Ⅵ新					120					
		京Ⅶ古					120					
		京Ⅷ新					120					
		京Ⅸ古					120					
		京Ⅹ古					120					
		11世紀前半頃の洪水			6-1層(ノドガヤ層)							
3面	2期											
		京Ⅸ中					(090)					
		京Ⅸ新					(090)					
		京Ⅹ古					090		194			
		京Ⅺ中					090				091-176 (小柱穴跡)	
		京Ⅺ新					090	090	188			(小柱穴跡)
		太鼓塚(1177)										
	4期	鎌倉										
		京Ⅴ古	鎌倉幕府(1185)									
		京Ⅴ中	米久の丸(1221)					040				
		京Ⅴ新						143				
		京Ⅵ古	文永の役(1274)・ 弘安の役(1281)				041		070			
		京Ⅵ中					099	041	049- 047			
	5期	鎌町										
		京Ⅶ新	鎌町幕府(1338)									
		京Ⅷ古										
		京Ⅷ中										
		京Ⅸ新	応仁の亂(1467-1477)									
	6期	戦国						042	089-043-073			
		京Ⅹ古	下原の注連					089	039			
		10世紀後半頃の洪水	(1058-1059)									
2面	7期											
		京Ⅺ中	下原の注連		034		022	027-033-035		029-141		
		天大路塙の風(1598)					021	022				
		京Ⅻ新	織田信長の意(1588)				021	022				
		京Ⅻ古	天正の町割・寺町形成(1590) 西山の町割・寺町形成(1591) 御所町形成(1603)				021					
	8期	江戸					021	121	136			
		京Ⅼ中					021	121	024	129-136		
		京Ⅼ新					021	121	024-038	129-130-136		
		京Ⅶ古					021	121	036	129-136		
		京Ⅶ中					021	121-123	036-135	132-136		
		京Ⅷ新	宝永の京都大火(1708)				023	026		136		
		10世紀後半頃の洪水	(1058-1059)									
1面	9期	京Ⅹ古					023	004-005-006				
		京Ⅺ古					023	004-007				
		天明の京都大火(1788)			2-30層		002	011	141			
	10期						002	037		014-141		
		京Ⅳ新					002	017-138		014-008		
		京Ⅳ古										
		京Ⅴ古										
		京Ⅴ中										
		元治の京都大火(1864)			1-18層		001- 003-122	012-013-015-123- 124-125-126-133				
	11期	近代	京Ⅳ新~									

表1 遺構時期別変遷表

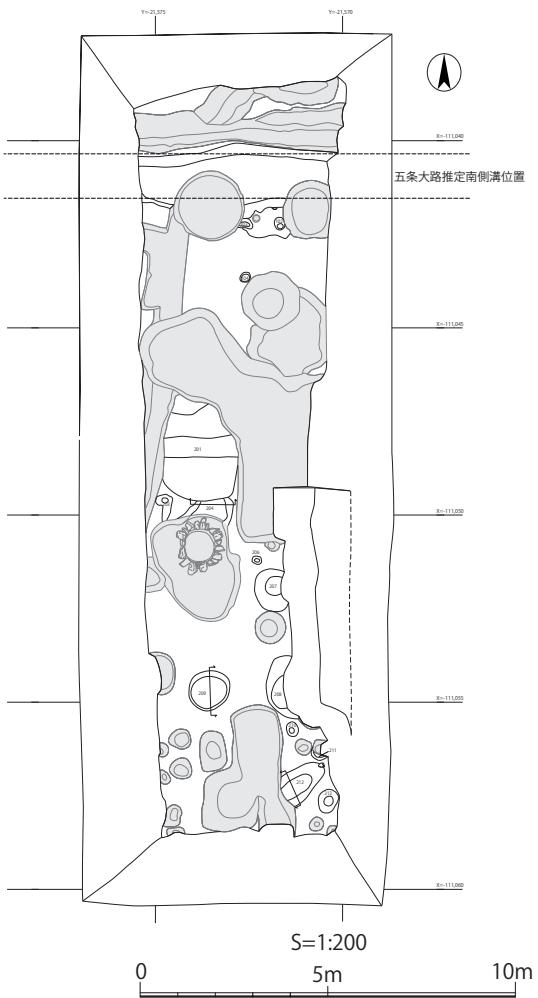


図2 1期遺構配置図



写真1 五条大路南側溝検出状況(西より)

a. 左京六条四坊八町 五条大路南側溝（本調査区）

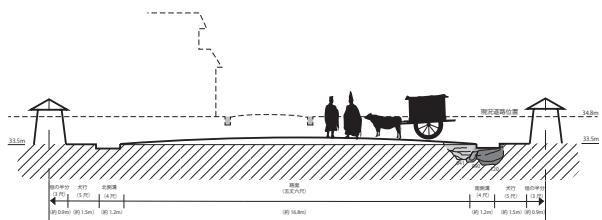


図3 五条大路横断復元図

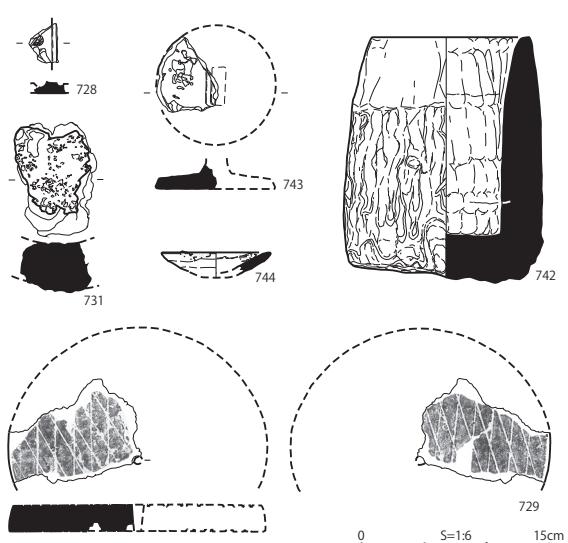


図4 鏡鑄造品